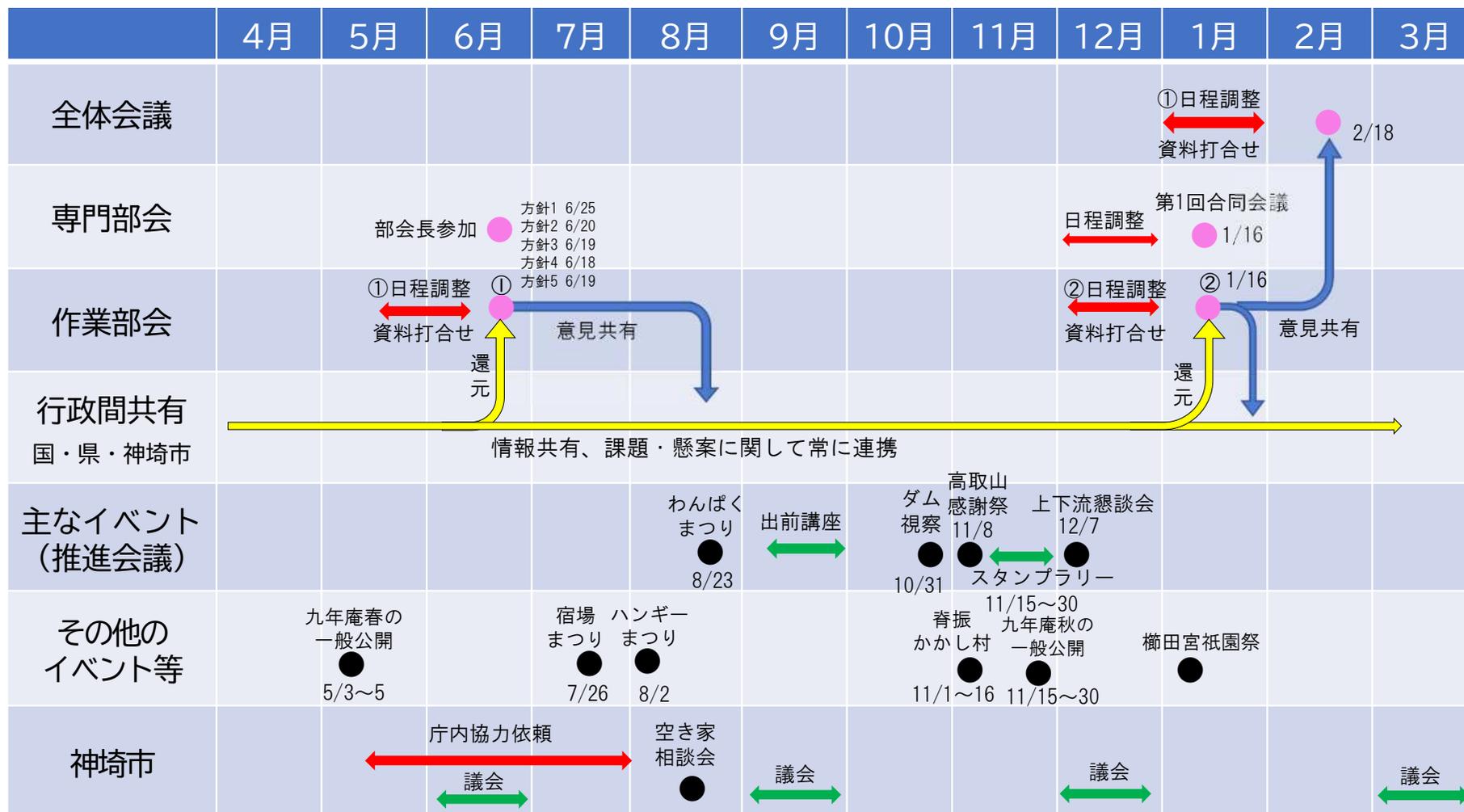


神崎市水源地域活性化推進会議

第3回全体会

令和7年度の主な活動

R7神崎市水源地域活性化推進会議スケジュール



国土交通省・佐賀県との定期的な情報共有

- これまでダム事業の用地補償関係に関する情報共有や調整を中心に実施してきた三者会議。(国土交通省佐賀河川事務所、佐賀県城原川ダム等対策室、神埼市ダム対策課)この会議において、令和6年度以降、ダム周辺整備や地域振興に関する情報共有も行っている。

R8年2月の情報共有の様子



神崎市庁内各部署との連携に向けた協議

- 令和4年度に庁内関係各課と水源地域活性化の連携方策に関する調整会議を実施。令和6年度以降、各課が実施予定の個別事業と、活性化推進会議(作業部会)との連携について検討を実施。必要に応じて作業部会メンバーと関係課の合同協議を実施した。
- 今後は水源地域振興計画に掲載されたプロジェクトのうち作業部会が早期の実現を目指すものから、関係課を交える形で具体化に向けた個別協議を実施していくこととする。

作業部会と関係各課において検討中の施策

- 森林環境譲与税を用いた木育・森林保全に関わる体験学習等の実現
⇒ 部会1×農村整備課林業係
- 仁比山神社山門・仁王像の保全(県指定文化財への格上げ要望)
⇒ 部会2×文化・スポーツ課文化財係
- 脊振地区空き家の活用、空き家バンク登録推進
⇒ 部会4×移住・定住推進課
- ガイドツアー、ガイド組織の創設等に関して
⇒ 部会2×商工観光課観光振興係

城原川下流域の小中学校での出前講座

実施目的：神埼市内の城原川下流域に住む子供たちに、城原川の水害の危険性や、水害から市民を守るための城原川ダムをはじめとする治水の取組(流域治水)について知ってもらう。

また、城原川ダムの建設に伴い、住み慣れた家や土地を離れて、新しい土地に移転される水没地域の方々がいることを知ってもらう。

内 容：①田んぼダムについて
②クリークの事前排水について
③城原川ダムの建設について

期 間：令和7年9月12日～10月3日

対 象：市内の小・中学校

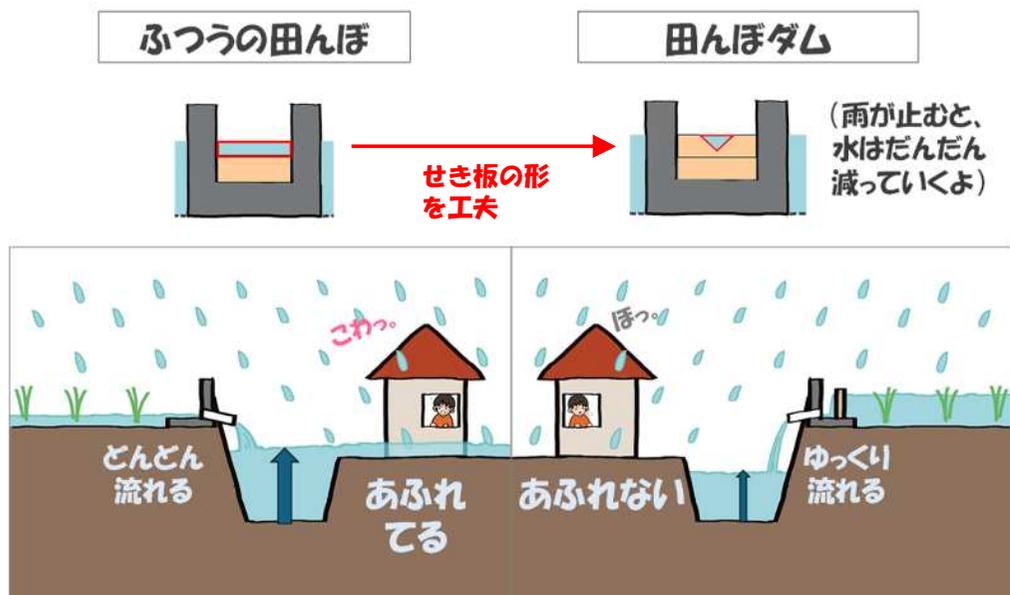


城原川下流域の小中学校での出前講座

■田んぼダムについて（佐賀県土地改良事業団体連合会）

標準的な田んぼ(30a:100×30m)には1200トン(m³)もの水を貯めることができる。大雨の際に、この水をしっかり貯めてゆっくり水路に流していくことで、川の水位の上昇を遅らせることを目的とした取組。

田んぼのますに設置するせき板の形を工夫することで、田んぼからの排水を遅らせることができる。ひとつの田んぼで貯められる量は小さくても広大な面積の水田で取り組むことで、その効果は大きなものになる。



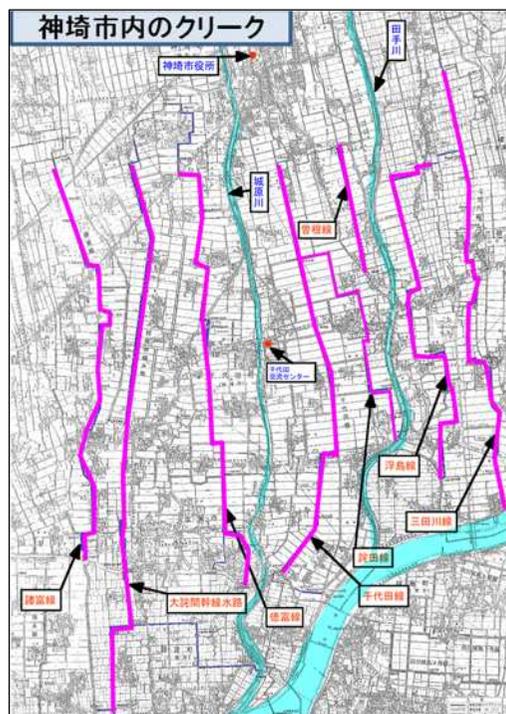
実際に水を流すことができる模型を使って子供たちに「田んぼダム」のはたらきを理解してもらいました。



城原川下流域の小中学校での出前講座

■クリークの事前排水について（神崎市農村整備課）

神崎市域を含む佐賀平野にはクリークと呼ばれる水路が多くある。クリークの事前排水は、大雨の前に水位を低下させておくことで、大雨の際に上流から集まってくる水を一時的にクリークに貯めることができ、市内の浸水被害を少しでも減らすことを目的とした取組。



神崎市内のクリークの長さは約145kmあり、事前排水後に貯められる水量は約156万 m^3 にもなる。（城原川ダムの計画貯水量の約45%）



治水効果



クリークの事前排水により
約156万 m^3 の貯留が可能

25mプール約2600杯分

大雨前にここまで
水位を下げしておく

城原川下流域の小中学校での出前講座

■城原川ダム建設について（神崎市ダム対策課）

城原川ダムがなぜ必要かについて、神崎市内における過去の出水時の動画などを交えながら、洪水の恐ろしさと、それを低減するダムの機能について説明。また、ダムの建設着手までに50年以上の歳月がかかっていること、ダムの建設により住み慣れた家や土地を離れて移転しなくてはならない水没地域の方々がいることを知ってもらった。



城原川下流域の小中学校での出前講座



先進事例地視察

目的：城原川ダムと同じ「流水型(孔あき)ダム」の形式を採用したダム事例地を視察することにより、今後、城原川ダムの利活用、周辺整備等を検討する際の参考とする

視察先：阿蘇立野ダム(R6完成)
川辺川ダム(建設中)

日時：令和7年10月31日(金) 8:30～

参加者：会長・副会長
作業部会員等 14名
神崎市各部局 4名
事務局 7名
計 27名



視察行程

先進事例地視察

各ダムの諸元一覧

ダム名		城原川ダム	阿蘇立野ダム	川辺川ダム
河川名		筑後川水系 城原川	白川水系 白川	球磨川水系 川辺川
ダム形式		重力式 コンクリートダム	重力式 コンクリートダム	重力式 コンクリートダム
集水面積	km ²	42.5	383.0	470.0
堤頂長	m	約330	197	約262
堤高	m	約60	87	107.5
湛水面積	km ²	—	0.36	3.91
洪水調節 容量	千m ³	3,500	9,500	84,000
総貯水量	千m ³	3,550	10,100	133,000
基本高水流量 (計画高水流量)	m ³ /s	690 (330)	3,400 (3,000)	3,520 (200)
条数 (呑口数)	条	—	3	3 + 2

先進事例地視察

■阿蘇立野ダム（熊本県南阿蘇村・大津町）

- 熊本市中心市街地を含む白川沿川の洪水被害を防ぐことを目的とした洪水調節専用ダム(流水型ダム)。基本高水のピーク流量3,400m³/sを本ダムにより400m³/sの洪水調節を行うことで、洪水被害の防止または低減を図る。
- 湛水区域を含む上流側は阿蘇くじゅう国立公園区域に位置しており、管理用通路、付替道路や斜面の改変を極力行わない形で自然と景観に配慮した形態となっている。
- ダム管理所裏の施工ヤード跡地で大規模な公園及び利活用施設の建設に着手している。
- 建設期間中より地元(南阿蘇村)のガイドによるインフラツアーが進められてきた。
- 完成後、何度か出水に遭遇したが、転石や流木による施設の破損や呑口部の詰りなどはみられない。



ダム堤体(下流側)



ダム下流側(減勢工)



ダム上流側



ダムグッズ

先進事例地視察

■川辺川ダム（熊本県五木村・相良村）

- 人吉市を中心とした下流域の洪水被害を防ぐため川辺川の基本高水流量 $3,520\text{m}^3/\text{s}$ を本ダムにより $200\text{m}^3/\text{s}$ まで洪水調節を行う。湛水域はダムサイトから上流端まで10km以上に及ぶ。
- ダム建設計画に伴い水没予定地となる旧頭地地区の住居や公共施設の移転のための盛土造成工事を平成5年に開始、平成13年より一般住宅入居開始し、役場庁舎、小学校、道の駅・物産館・温泉館などが順次整備され、平成19年に中学校・高校が移転。村の機能がほぼ移転した。
- 現在、ダム建設事業の推進とあわせ、令和5年に国・県・村が一体となって「”ひかり輝く”新たな五木村振興計画」を新たに策定し、将来を見据えた振興策の具体化に向けた取組が進められている。
- 水没地域内の利活用施設は「[河川敷地占用許可準則](#)」の「[都市・地域再生等利用区域](#)」への指定により占用許可を受けている。



先進事例地視察



阿蘇立野ダム堤体付近にて



ヒストリアテラス五木谷(五木村歴史文化交流館)にて

城原川上下流域懇談会 ―城原川ダム水没地域への感謝のつどい―

目的：城原川ダムの建設に伴い移転する水没地域の住民に感謝し、治水や今後の水源地域の地域振興について考える契機とする。

日時：令和7年12月7日(日) 10:00～

場所：神埼市中央公民館

内容：第1部 講演：

○国土交通省佐賀河川事務所長 古賀満

○佐賀大学名誉教授 五十嵐勉

第2部 式典：水没地域への感謝のつどい

○感謝状贈呈(神埼市長・佐賀市長)

○感謝のことば(神埼中学生徒2名)

○花束・記念品贈呈(小学生・園児から協議会へ)

○参加者へのメッセージ(山口知事)

○御礼のことば(真島会長)

来場者： 385名

下流域の私たちを洪水から守るため
長年住み慣れた家や土地を離れる
方々がいることを私たちは忘れません

城原川ダム水没地域への感謝のつどい

日時
2025年12月7日 日 10:00～11:30

プログラム

■開会・ごあいさつ	10:00～
■講演 治水と地域活性化	10:10～
○城原川ダムによる水災害に強い地域づくりについて 国土交通省 佐賀河川事務所長 古賀満	
○水源地域の水が育む持続可能な地域づくりの推進に向けて 佐賀大学名誉教授 五十嵐勉	
— 休憩 —	10:50～
■式典 水没地域への感謝のつどい	11:00～
○感謝状贈呈 ○感謝のことば ○花束・記念品贈呈 ○御礼のことば	
■閉会	11:30

アンケートへの
回答はこちらから

主催：神埼市水源地域活性化推進会議・神埼市
共催：佐賀市・佐賀県
国土交通省佐賀河川事務所

◆お問合せ先
神埼市 建設部 ダム対策課
TEL 0952-37-3874
MAIL damutaisaku@city.kanzaki.lg.jp

城原川上下流域懇談会 ―城原川ダム水没地域への感謝のつどい―

■講演1 : 城原川ダムによる水災害に強い地域づくりについて

国土交通省佐賀河川事務所長 古賀 満



城原川の河川特性や城原川ダムの必要性、佐賀平野における総合的な治水対策の紹介

■講演2 : 水源地域の水が育む持続可能な地域づくりの推進に向けて

佐賀大学名誉教授 五十嵐 勉



ダム水源地域の抱える課題と、地域振興における関係人口創出の重要性などの紹介

城原川上下流域懇談会 ―城原川ダム水没地域への感謝のつどい―

■ 感謝状贈呈



■ 感謝のことば



■ 記念品贈呈



■ 参加者へのメッセージ



■ 御礼のことば



城原川上下流域懇談会 ―城原川ダム水没地域への感謝のつどい―

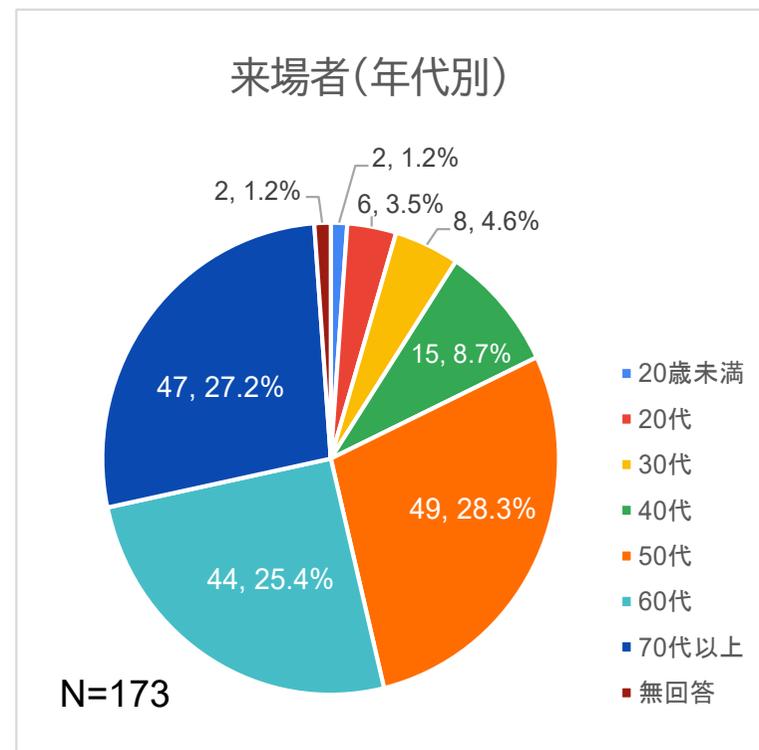
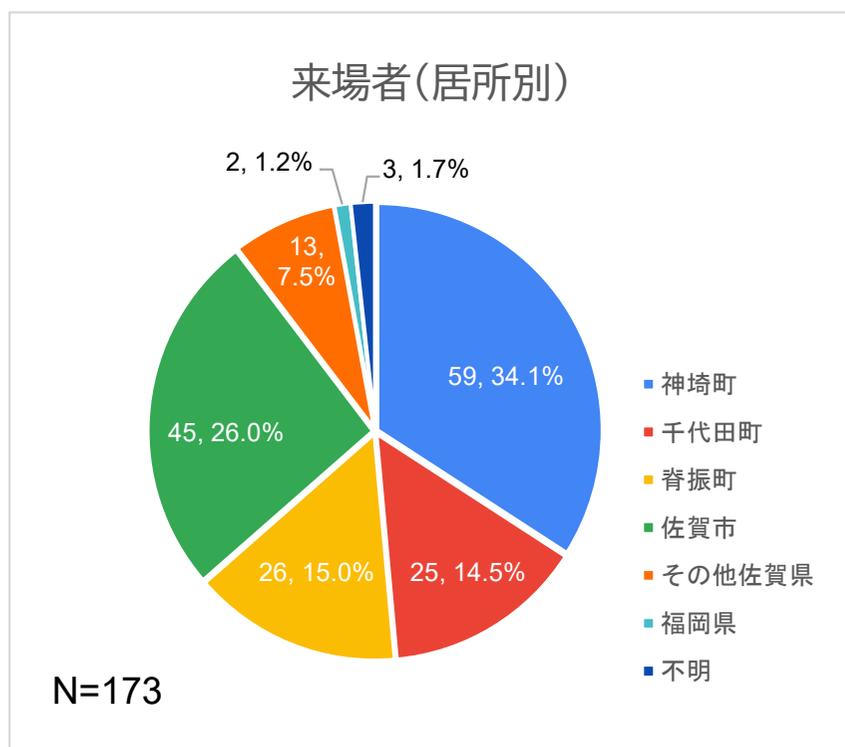
佐賀テレビ 225/12/07 17:18



<https://www.sagatv.co.jp/news/archives/2025120721796>

城原川上下流域懇談会 ―城原川ダム水没地域への感謝のつどい―

■懇談会参加者の属性（アンケート回答者のみ）



備考) 直接回答:68.8%, Web回答:31.2%

九年庵・水車の里スタンプラリー

11/15~30

九年庵・水車の里スタンプラリー



秋の一般公開

国指定名勝「九年庵」



水車の里
周辺



○九年庵秋の公開との連携イベントとして、昨年に引き続き九年庵本部～水車の里方面をめぐるスタンプラリーを実施
九年庵秋の公開(中～下旬)に合わせた水車の里の**精米作業公開、水車米販売**を支援すべく、**スタンプラリーを実施**。
期間中に約1,800名の参加(記念品を受け取った人数)があり、九年庵公開の魅力向上、水車の里の集客と水車米の売上(3倍)の向上に寄与した。

九年庵・水車の里スタンプラリー

11/15~30

■R6からR7にかけてグレードアップした内容

九年庵 水車の里 11/15(土) 11/30(日)
スタンプラリー2025 8:00~16:30

① 愛逢橋
② 梅の花神埼村
③ 白角折神社
④ 水車の里
⑤ 伊東玄朴旧宅
⑥ 九年庵

全てのスタンプを集めた方には
ゴールで素敵な景品をお渡しします。
梅の花ゼリーが当たるWチャンスもあります
スタンプ対応時間 8:00~16:30
景品交換時間 9:00~16:00

主催：神崎市水源地域活性化推進会議
お問合せ：神崎市建設部 公民館課 水源地域課 0952-37-3874

九年庵・水車の里スタンプラリー
ルートマップ

明治の大変革家伊丹玄太郎の別邸と庭園です。9年の歳月をかけて築いたといわれる邸は、今は新築。彼は私邸の名所として有名な「園」の名前に指定されています。

仁比山神社
778年に創建され、1700年以上の歴史をもつ神社です。12年に1度の申年の大祭に奉納される「相田舞」は、佐賀県の重要無形民俗文化財となっています。

いとうげんぼくきゅうたく
伊東玄朴旧宅
其水の底なる龍学宮。日本近代西洋医学の先駆者である伊東玄朴が建てた家です。天然痘予防のための種痘を全国に広めたことで有名です。

距離と所要時間
①→② 750m 約15分
②→③ 140m 約5分
③→④ 270m 約5分
④→⑤ 650m 約15分
⑤→⑥ 200m 約5分
立寄りも含め 約1時間半程度

日本初の木造トラス構造のアーチ橋です。
城原川をはさんだ仁比山神社と八天神社を隔ふことから縁結びに利益があると言われています。

古くから山岳信仰の霊山として崇められた土舞山は、上古の巨木を御神体とし「天狗の尊む山」とも呼ばれました。現在も八天神社として多拝者が訪れます。

豆蔵や米蔵の広さの他、地元の野菜など約100種類の商品があります。当地内にはバイキングレストラン・カフェ・パン工房など様々な施設があります。お土産やお土産の購入にお立ち寄りください。

うめのはなかんざきむら
梅の花神埼村
おしとれんじや
白角折神社
おしとれんじや
城原川のせせらぎを聞きながら神埼の魅力や歴史を味わえるコースです！

主催：神崎市水源地域活性化推進会議



+



九年庵・水車の里スタンプラリー

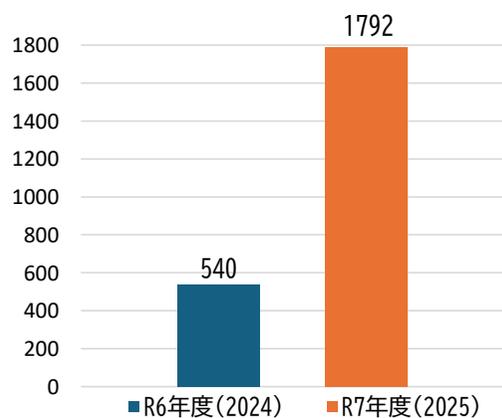
11/15~30

■スタンプラリー実施状況

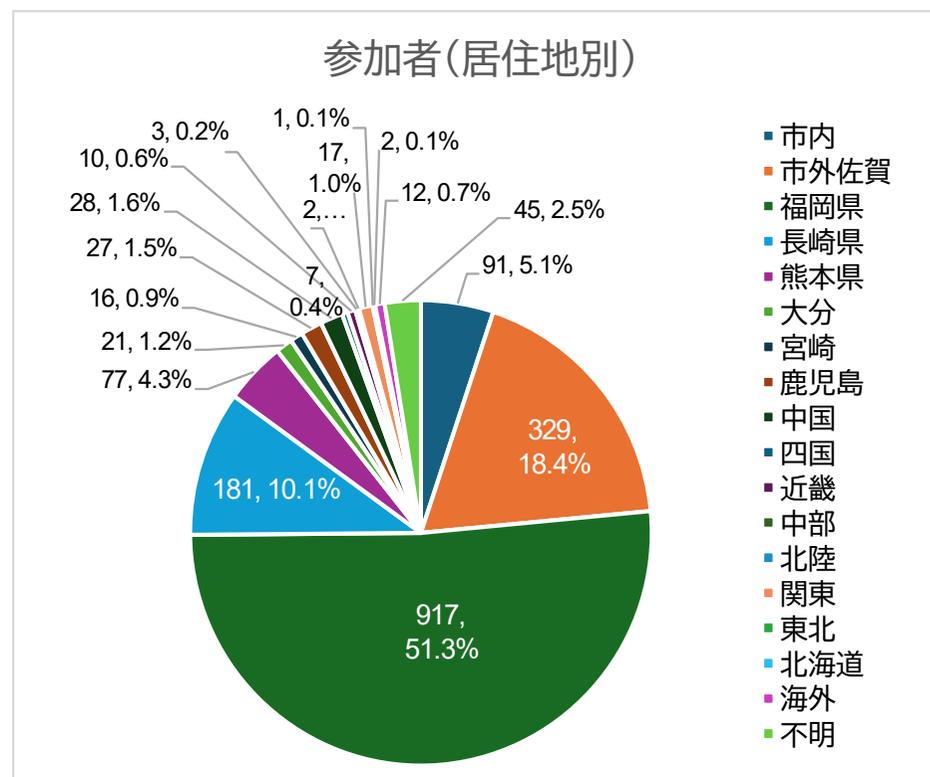
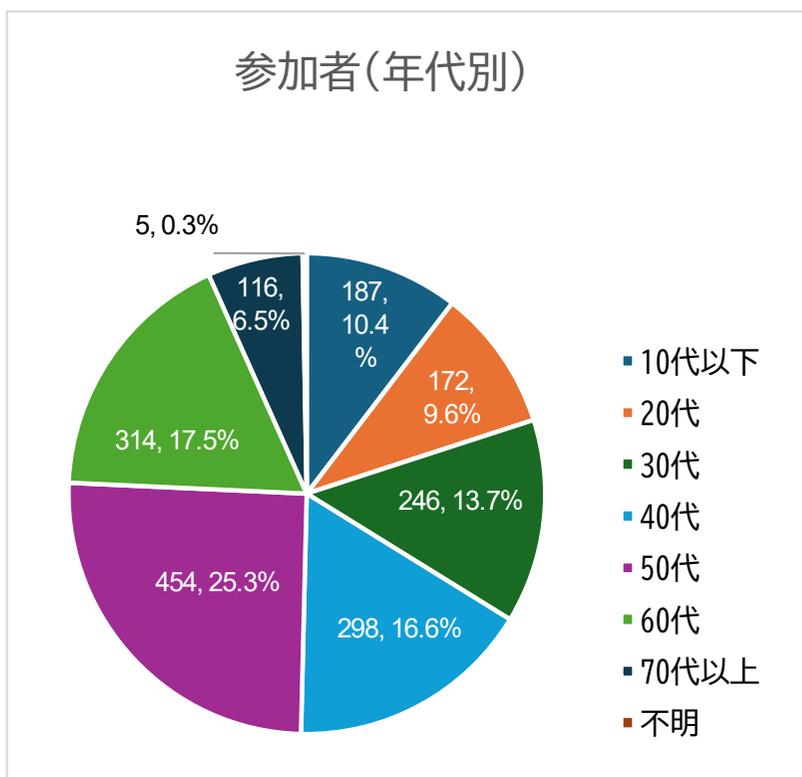
九年庵秋の公開が2週間に延びたこと、事前PRの効果により、参加者数は前年度の3倍強となった。



参加者数の推移



■スタンプラリー参加者の属性（R7年度）

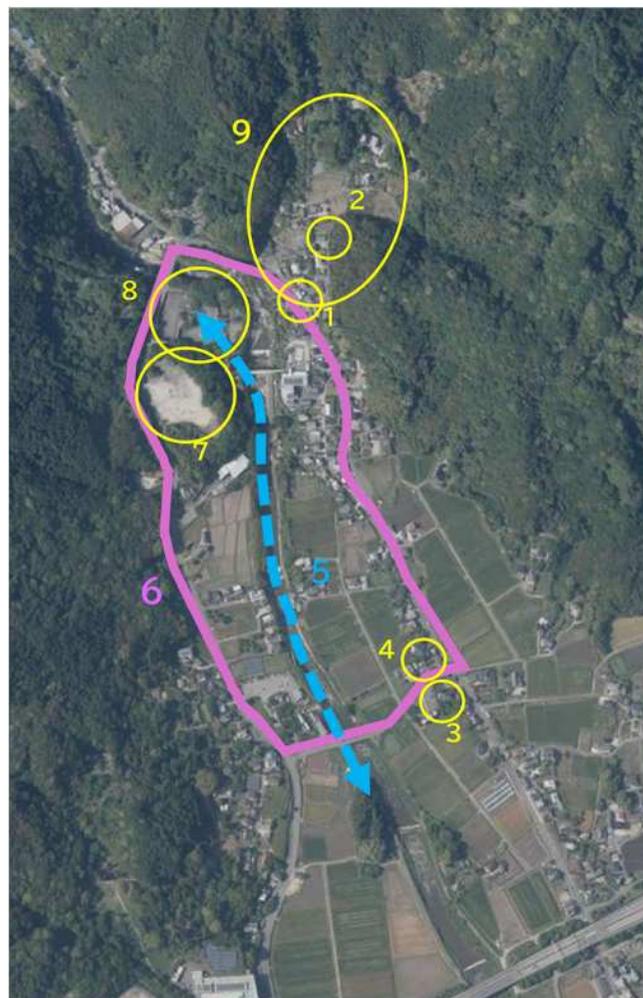


九年庵・水車の里スタンプラリー

11/15~30

■スタンプラリーの先にあるもの

- 仁比山地区は、かつて脊振往還の要衝として栄え、仁比山護国寺に代表される仏教文化の中心でもあった。現在も仁比山神社、地蔵院、九年庵、伊東玄朴旧宅などの歴史・文化資源が集積しており、城原川を挟んで仁比山公園・キャンプ場や八天山、城原川の下流には水車の里、梅の花神埼村などの観光資源が点在している。
- これらの資源や地区内の里山・田園風景を面的に捉え、現在、庁内各課が同地区内で検討中の各種事業を、地元も交えて検討しながら、一体的に整備し、地域全体の魅力向上につなげる。



庁内各課の懸案事項	
1	仁比山神社の仁王像と仁王門 文化・スポーツ課 文化財係
2	伊東玄朴記念館の建設(場所未定) 建設課 都市計画係
3	水車の里遊学館のリニューアル 建設課 都市計画係
4	水車の里の維持補修・魅力化 農林水産課 企画・DX係
5	城原川遊歩道の改修・親水利用 建設課 建設係・佐賀県
6	観光道路としての回廊整備※ 建設課 建設係・佐賀県
7	健康保養センター跡地活用 建設課 都市計画係
8	仁比山公園・キャンプ場の魅力化※ 建設課 都市計画係
9	仁比山地区歴史文化資源の活用 商工観光課 観光振興係 文化・スポーツ課 文化財係 建設課 建設係

※:担当課と未調整